

春になり、ふきのとう、コシアブラの天ぷらが毎年の楽しみになっています。あつたら芽も。今年もおいしいな〜と小さな幸せを感じています。
(能代市ニツ井町 福岡 節子さん)

●どの食材も天ぷらが一番ですね〜揚げ物ばかりですけど春だからゼロカロリー〜間違いなし。安心して春を満喫しましょうね。

実家から野菜と一緒に広報しらかみが届きました。能代から離れて暮らしてみても改めて野菜が豊富なところだったなと感じました。
(ペンネーム ☆りんごちゃんさん)

●離れた土地からも地元農業とJAあきた白神の応援よろしくお祈りします。そちらの土地の面白い情報がありましたらお便りでお知らせください。

新型コロナウイルス感染症の影響で6年生と高校生の修学旅行はどうなることやら…自分たちの時楽しかった思い出を子ども達にもと思っております。
(能代市ニツ井町 佐藤 由香里さん)

●自分たちが楽しかったことは子ども達にも体験してもらいたいですよね。一日でも早い収束を願うのみです。

新入職員のみながんばれ〜暖かくなると色とりどりの服を着て出かけるのが好きなのですが、コロナ禍で旅行に行けないので、スーパー行くのに超オシャレしてます!
(能代市 清水 千春さん)

●どこ行くにも同じ服の私ですが、清水さんを見習いセレクトリティなファッション生活を今年の目標としてみます。

先月号の、まずは顔と名前だけでも覚えてください。このネーミング好きで新人さんの笑顔がキラッと光りますね。この時期になると自分の新人の頃をよく思い出します。初心を忘れずにいたいと思うのも大切なこと。今日この頃です。今年も大々的にお花見は出来ませんが…しっぴりと桜を楽しみたいですね。
(仙北郡美郷町 伊藤 恵佳さん)

●私自身、数十年前に決めた初心を今貫き通しているかといえば自信がない…一日一日目標を持って大切に過ごしていきたいと思っております!

先日所属する老人クラブ総会を開催しました。コロナ禍に十分注意しながらの開催で大変な苦労がありました。手指消毒やうがいなど、三密にも注意しての総会で大変苦労しました。一日も早い収束を願うばかりです。
(能代市 田中 武さん)

●様々なことに気を使わなくてはいけなくなって大変な世になってしまいましたね。総会運営お疲れ様でした。

今年中古耕運機を買いました。今までにない良く実ったものが出来そうな予感?
(ペンネーム 花より団子さん)

●愛車(機)を使いこなし、農作業頑張ってください。くれぐれも作業事故には気を付けてください。

能代市の「脳ドック」助成金を利用して健康管理のためと思い、妻と二人で初めて脳ドックを受診した。「歳相応で異常ありません。」を何度聞いたことか…喜んでいいのやら…??定期的な運動と山盛りの野菜が効果あったのかも。川柳…脳ドック 歳相応と 太鼓判 (能代市ニツ井町 清水 博文さん)

●太鼓判を押されたのだから喜んでくださいね。定期的な運動では怪我をしない程度に歳相応にこれからも頑張ってくださいね!

定年退職をして、しばらくアルバイトをしていたのですが、今は辞めて暇になったので季節柄山菜採りに。しばらく運動もしてなかったので歩こう会に週一回参加しています。また、以前やっていた運動も週一回はやってみようと思っています。
(能代市 白井 準一さん)

●定期的な運動はいい事ですね。以前やっていた運動とは何ですか?よかったですら教えてください。

地元就職が難しいご時世で若者の地元離れが続き、年々寂しさが募ります。年配者が増える一方でますます2025年問題。若者に魅力を感じてもらえる仕事・雇用の場が増えて欲しいと思う能代大好きおぼさんです。
(ペンネーム ムーばばさん)

●広報業務を通じて、農業とJA職の魅力を発信し続けたいと思います!

スイセンも咲いてチューリップも咲きそう。花を見ていると前向きになれます。コロナ禍で出かけられないので早く収穫してくれとうれしい。
(能代市ニツ井町 秋林 ミチ子さん)

●道端に咲く春の花々を見つけるたびに、冬が終わった実感とこれからのやる気がわいてきますよ。

この惨禍に動じることなく花咲く春がやってきた。そして雑草が挑戦状を突き付け、青々と茂っている。こうなれば小百姓の私も追い立てられるようにスイッチオンとなる。昨年は失敗が続いたが…さあ今年はいかに!
(ペンネーム ばあたんさん)

●雑草魂で根気よく頑張ってください。これから日差しも強くなりますので無理せずほどほどに…

コロナ禍が続く中でも、桜は変わらず綺麗に咲いて心を慰めてくれます。これから始まるワクチン接種でまた来年も元気に花見ができますように…
(能代市 柴田 アイ子さん)

●全国各地でワクチン接種の遅れが報道されていますが、新型コロナウイルスがちょっとした風邪扱いされる日が早く訪れてほしいと思います。

プラスチック製品の削減対策に応じて買い物袋の廃止が実施され、道端での弁当などの入った空袋のポイ捨てが見られなくなり、喜ばしい限り!皆で協力して温暖化を食い止めたものです!
川柳…温暖化 廃プラ辞して 住み良い世 (能代市ニツ井町 山谷 幸子さん)

●道端のゴミは数十年前と比べれば大分なくなりましたよね。その分、たまに捨てられているゴミを見るとまだ心無い人の存在にガッカリしてしまいますね。

当選おめでとうございます

福岡 節子さん(能代市ニツ井町) 清水 千春さん(能代市)
ペンネーム ☆りんごちゃんさん 伊藤 恵佳さん(仙北郡美郷町)
佐藤由香里さん(能代市ニツ井町)

▲誌面の都合上、皆様から寄せられたお便りを、一部割愛させて頂きました。たくさんのお便り、ありがとうございました。

先月号の答え
レンゲソウ

ウ エ ノ コ ウ エ ン
ホ コ ツ ク
キ ン ギ ヨ 赤 ケ
ツ リ レ キ ゴ
ネ ジ ン ン ン
ユ ミ ト ン
ゴ ウ ソ ツ キ ユ ウ

タテのカギ

01 鳥が日本などで 干しをしている野鳥です。あげ、空高くさえずる
02 砕けて石や砂になります
03 突然、風船が した
04 種、種に共通の部首
05 5月の第2日曜日は の日です
06 和服の袖の下に垂れた部分
07 金太郎は長じて坂田 となりました
08 物質の性質や星の動きなどを学びます
09 胸が太いビのような形をしているという、幻の生物
10 二輪車のこと
11 奈良や京都のように昔、都が置かれていた場所
12 中国に次いで人口の多い国
13 紳士服 は4階級に分かれます

クロスワードパズル

1	5	7	D	13	20
2				14	17
		8	11	18	B
	6			15	
3			12		21
4	E			16	19
		10			A

答 A B C D E

応募方法

ハガキの裏面に答え住所、氏名、年齢、電話番号、先月良かったコーナー、あわせてお便りコーナーへひと言添えてご応募ください。広報に寄せられたお便り及び当選者の氏名を掲載させていただきます。

宛先
〒016-0816 能代市富町2-3
JAあきた白神クイズ係

ヨコのカギ

01. 5月の空を泳ぎます
02. ボカボカ陽気の日には脱いで腕に掛ける人も
03. 魚の胸や背、尾などのヒラヒラ
04. トッカータとフーガ」を作曲しました
06. 柱や立ち木の間に通って使う寝具
08. トマトの美の食べない部分
10. バラは「愛」や「美」、アヤマなら「朗報」「希望」など
12. ——を買って家を建てた
14. リュックやトランクもこれの一種
16. ゴールまで——5kmです
18. つるべを下ろして水をくみます

予告 広報「しらかみ」6月号より 新連載企画スタート!

「工業科」と「農業科」の二つの学科を設置している県内初の専門高校として、令和3年4月に能代科学技術高校が開校しました。

能代科学技術高校は、学科間連携に基づく専門教育を通して、社会的・職業的な自立に向けた能力と態度を育み、身に付けた技術や技能により地域産業を担い、地域振興に貢献できる人材を育成する科学技術の学び舎です。

広報「しらかみ」6月号より、能代科学技術高校の農業クラブに所属する生徒たちによる新連載企画「能代科学技術高校生レポート(仮題)」がスタートします。

農業クラブに所属する生徒たちが授業や課外活動で学んだことなどを、取材から校正までを全て行って紹介してくれます。

新連載企画を通じて、JAあきた白神、能代科学技術高校、地域との絆を深めていきたいと思っております。次月号をお楽しみに!!



1年次の9月まで

工業科 (3学級)

農業科 (2学級)

1年次の10月から

機械科
電気科
建設科
生物資源科
生活福祉科

1年次の10月から希望する学科・コースの専門科目を履修します

ものづくり学習 食とくらしを支える学習

工業科 連携 農業科

・ロボット技術・ドローン技術・ICT技術・共同研究 etc

特色ある教育活動

・新エネルギー産業ロボット技術やICTを活用したスマート農業、植物工場等、新しい技術に対応した教育
・生徒の創造的な能力を伸ばし、専門性の深化を目指す教育
・学校独自の「技能スタンダード」による多様な資格取得の推進
・長期インターンシップ等を活用した地域企業との連携
・地域の研究機関等と連携した高度な実習や課題研究

新1年生体験学習

この春入学した農業科の生徒55人は、学科ごとの授業の雰囲気を体験する体験学習会を行いました。

新1年生は「簡易バター製造」「水稻播種作業」「各種検定体験」「介護体験」の4班に分かれてそれぞれの授業を体験しました。

水稻播種作業を初めて体験した平川晴喜さんは「毎日食べているお米が出来るまで、どれだけの手間がかかるかを改めて学べた。これからは一粒一粒大事に食べるようにしたい。」と話してくれました。

農業科の新1年生は10月から各学科に分かれて専門的知識を学んでいくこととしています。



一粒一粒丁寧に播種しました。



手作りバターのお味はいかが?



疑似体験器具で加齢による身体的変化を体験



生物資源科の3年生が指導してくれました。